

令和2年10月15日

## 意見表明

日本維新の会 神戸市議員団

日本維新の会神戸市議員団は、令和元年度神戸市各会計決算及び関連議案について、下記の理由により、要望19件を付して、認定・承認いたします。

### (理由)

令和元年度神戸市各会計決算では、社会保障関係費や投資的経費が増加した一方で、所得の増加などに伴う個人市民税の増加や、行財政改革を着実に進めたことにより、実質収支は黒字となり、23年連続でプライマリーバランスの黒字を確保したことは評価いたします。

しかし、都心・三宮再整備や新長田合同庁舎の整備などに伴い建設地方債が増加し、新型コロナウイルス感染症対策のため、財政調整基金残高が115億円に減少するなど、財政的には厳しい状況であることは変わりありません。また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う税収の減少により、今年度以降の財政収支は厳しいものになることが予想され、感染症拡大の抑制と社会経済活動の両立が喫緊の課題であります。今後はICTを活用した行政手続きのオンライン化、業務改革、働き方改革、官民連携の推進など効果的かつ効率的な行財政運営に取り組み、市民サービスを向上させる必要があります。

神戸の魅力と活力を高める取り組みと共に、「withコロナ」の時代を乗り切るための抜本的な行財政改革を推し進めることを期待し、令和元年度神戸市各会計決算を認定し関連議案を承認いたします。

### (要望事項)

1. 職員が効率的に仕事できるようテレワーク環境を早急に整備すること。また働き方改革を先導すべき幹部職員に対し、ICTリテラシーの向上に努めること。
2. 縣市二重行政の解消も含め、重複業務を排除し、業務効率化に取り組むこと。
3. 職員の外郭団体への再就職や、各外郭団体への財政的関与・資本的関与の必要性について改めて見直すこと。
4. 労務職の採用区分にかかる学歴要件を撤廃し、真に活躍が見込まれる人材を確保すること。

5. 図書館は地域の方々に親しまれる魅力ある施設として環境整備、運営サービスの向上を行うこと。また図書館の検索システムにタブレットを活用したタッチパネルを導入すること。
6. 認知症予防策のため、特にMC I（軽度認知障害）予防施策の拡充を図ること。
7. インフルエンザ流行期を見据えて、医療機関で新型コロナウイルス検査・診療を受けられる体制を整備すること。また新型コロナウイルスを正しく理解してもらう取り組みや、感染者への差別・偏見・誹謗中傷や風評被害を無くするための周知を徹底すること。
8. 妊婦へのタクシー代補助については、個人タクシーも含め、全てのタクシー事業者で使えるようにすること。
9. 神戸市こども家庭センターに警察官を配置することにより、経験やノウハウなどのスキルを利活用しながら、警察との合同研修などを通し、情報共有を積極的に行うこと。
10. 多胎家庭における産後ケアの宿泊・通所サービスを無料とし、妊娠・出産時における経済的・精神的支援をさらに充実していくこと。
11. 行政サービスのオンライン手続きやホームページの見せ方に関しては、市民ユーザーの利便性向上の観点で早急に改善すること。
12. 大阪・関西万博は新型コロナウイルス感染症により未曾有の打撃を受けている神戸経済・インバウンドを回復させる千載一遇の機会であるため、神戸の港と空港を最大限活かした攻めの姿勢で積極的に取り組むこと。
13. 須磨多聞線西須磨工区については、地元自治会の「理解と協力」を得られないままに着工した件を反省し、早急に話し合いに応じること。
14. 三宮再整備においては地上レベルだけに着目するのではなく、地下動線の強化など地下街の整備に取り組むこと。
15. 空き家問題に関し、積極的に勧告を行うなど住宅用地特例の解除に努め、適切に助成を併用しながら、解体と活用の促進に努めること。
16. 各区消防署に陰圧式患者搬送用器具（アイソレーター）の導入促進を図ること。
17. 交通事業は、更なる民間人材を積極的に活用し、増収対策、コストカット、新たな収益源の確保により、資金不足比率および収支の改善に努めること。また次期経営計画は、5カ年での計画ではなく、中・短期的な目標を設定し、業務を向上させるための実行計画を策定すること。
18. 学校園でのICT導入に関し、教員からの問題や解決方法などの情報を集約・蓄積し、事務業務を軽減すること。またデータのセキュリティー・情報漏えい対策を徹底すること。
19. 温かい中学校給食を提供できるよう、親子方式や保温食缶の導入を早急に行うこと。またニーズに合った美味しい給食を提供できるよう、研究を重ねていくこと。